

目標達成計画

作成日: 平成 30年 2月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族会開催の呼びかけを継続しているが家族の半数が遠方であり、協力者が得られず実現に至っていない。また、家族の施設訪問や運営推進会議への参加も少ない。家族の率直な意見や気持ちを表せる機会作りを行う必要がある。	家族会の設立のみにこだわらず、家族同士が交流できる機会や意見が言える場を作り、家族の率直な意見を運営に反映させる。	郵送で家族へのアンケート調査を行い、普段感じていることや気が付いたことを記入し無記名で返送していただき、家族の意見や要望を運営に反映できるよう取り組む。家族会の声かけを継続していくが、それだけにこだわらず、催しや行事、推進会議への参加の案内も積極的に行い意見交換の場を作る。	12ヶ月
2	23	学習療法を通して利用者とのコミュニケーションを深め、思いや希望を理解するよう努めているが、センター方式を活用した記録の作成については不十分で、その必要性や記録方法についても職員間の周知はできていない。	センター方式の必要性や記録方法について、職員一人ひとりが理解を深める。利用者の思いや意向に沿った支援の実現のために、学習療法も継続して行う。	利用者一人ひとりの思いや意向が集約した記録となるよう、センター方式または同様の方式を用い、それぞれの希望する暮らし方、意向の実現に努める。センター方式について職員が理解を深める。	12ヶ月
3	35	災害対策において施設外へ安全に避難するための整備が完全にできていない。利用者のみならず家族や地域住民、職員の安心の確保のためにも災害対策のための整備が必要である。	利用者の命を最優先に考え、経費との調整をしながら避難経路と施設周辺の整備を行っていく。	全ての非常口から利用者が安全に避難できるようスロープの設置と、施設周辺のアスファルト整備を行う。現在見積りまでは行えており、経費との調整をしながら出来る所から行う。	12ヶ月
					ヶ月